

8-7

デイサービスとショートステイの一体的サービスの提供

安心して利用できるショートステイを目指して

高齢者在宅サービスセンター くにたち苑

相談員 本田香

東京都国立市泉3-1-6

TEL：042-577-3111

E-mail kuni-en@green.ocn.ne.jp

FAX：042-5771301

URL <http://www.kuni-en.com/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人弥生会はデイサービス、ショートステイ、特養、居宅支援事業所が併設された施設1カ所とデイサービスセンターの2ヶ所で事業をおこなっています

〈取り組んだ課題〉

- ショートステイ利用者の大半が同法人のデイサービスを利用しているが、異なる部署の特養職員によるケアのためデイサービスで得た情報が共有されずきめ細かいサービスの提供ができにくい
- デイ、ショートを一つの部署で継続したサービスを利用者に顔なじみの職員によるケアを提供していく必要性を感じ18年度からの実施を目指した
- ショート中もデイの活動に参加できるようにケアプラン、日課、プログラムの編成
- ショート中のケアを顔なじみのデイ職員が担当できるように業務、職員体制の見直し
- 実施に向けて職員間の認識統一を図る

〈具体的な取り組み〉

- 職員にショート、デイサービスの2つのサービスを提供していくことの意義を説明し意見交換をしながら意識改革を図った
- 18年度からショート、デイサービス部門を統合し在宅部門に一本化した
- 活動場所の整備と活動プログラムの準備、職員配置見直し
- ショート、デイサービスの業務にローテーションで入るように勤務編成した（夜間帯のみ特養職員が入る）
- 使用する書式を共通にし職員間で利用者情報の共有化をすすめた

〈活動の成果と評価〉

- ショートステイ、デイサービスを一体的に提供できるようになり在宅生活を支える機能が強化された
- デイサービス利用時と同じ顔なじみの職員がサービスを提供することできめ細かいケアをおこなえるようになり、利用者、家族から安心、信頼を得ることができた
- 職員も知っている利用者をケアするため不安を感じることが少なくなった
- 日中はデイの活動に参加できるためショート中も退屈せず楽しい時間を過ごしていただけるようになった
- 毎月繰り返し利用する方が増え、利用率が安定した
- 利用者の一日の生活状況を知り、さまざまなケアの方法をショートステイ業務の中で学ぶことができ職員の介護技術の向上につながった

〈今後の課題〉

- 24時間体制の検討
- ショートステイ独自の活動プログラムの充実
- デイサービスの充実
- 会議の設定について